



裏手の林が有田さんはお気に入り。入り口にパーベキューコーナーもつくった。

した快適な露天風呂の計三つの風呂を満たしている。

有田さんの一日は早朝三時ごろから始まる。夜は仕事を済ませたらすぐ寝て早起する習慣が続いているのだ。まもなく愛犬ドンを連れて、たっぷり一時間は散歩。坂道が多いから、じつにいい運動になる。この愛犬ドンは、「だれが来てもほえず、人なつこいで民宿向きですが、番犬にはならない(笑)」。

毎朝六時半には、民宿の料理をまかされ、実務面で貴重なスタッフの山口美枝子さんを迎え入れる。山口さんは地元安房鴨川のホテルで調理経験も長く、新鮮な海の幸中心に、客を喜ばせる料理の腕をふるう。

「八月はすごい賑わいでした。海水浴や鴨川シーワールドを楽しんだり、ドイツニderlandに行くのにうちに泊まる人もいましたね。ほかはシーズン過ぎる

「うちは設備と料理はホテル並み、料金は民宿以下、です」と有田さんは笑う。ずばり一泊二食付き四千六百円！これだけ安いと料理はたいしたことなからうと、素泊まり二千三百円を

「お客さんが露天風呂を気に入って、一時間でも二時間でも長湯するのです。一つを貸切状態ですから、それじゃあもう一つつくろうか、と」



有田さんは愛犬ドンを早朝散歩を欠かさない。自然を満喫しながらたっぷり1時間は歩く。

「温泉は朝早くか、お客さんがすべて入り終えた後にゆっくり入ります。ふたをしたり、掃除をするのも役目ですからね」

「静かで眺めもいい」「露天風呂がいい」に加え、「とても料金が安いのに、料理にびつくりした」でないと、やはり昨今はいけないようだ。

有田さんの民宿経営のモットーは、「もうけなくていい。悠々自適の生活に人が来てくれて、経費分が補えればいいのです」。結果は「営業自体は黒字」。しかし、気に入ったこの土地と温泉をもっと生かしたくて、構想はふくらむ。

戻ると、有田さんはマネージャー役に徹する。予約が入る電話の応対は手を離せない。その合間を見て、野菜その他「こまごましたもの」の買い出しに車で出かけるのも仕事だ。

「静かで眺めもいい」「露天風呂がいい」に加え、「とても料金が安いのに、料理にびつくりした」でないと、やはり昨今はいけないようだ。

有田さんの民宿経営のモットーは、「もうけなくていい。悠々自適の生活に人が来てくれて、経費分が補えればいいのです」。結果は「営業自体は黒字」。しかし、気に入ったこの土地と温泉をもっと生かしたくて、構想はふくらむ。



(民宿の)自慢は山口さんがつくる料理。新鮮な海の幸がふんだんで安い！

## 二つ目の露天風呂に コテージもつくりたい

で行ける裏手の自慢の林へ誘う。そこに露天風呂を新設し、上手にはなんと人工滝までつくるというのだ。

「もっと素敵な露天風呂になりますよ」

さらに野外パーベキューコーナーを設けた林の入り口に屋根を掛け、奥にコテージを建てる計画だ。泥混じりの斜面の土を取り換え、駐車場スペースを新設する工事も進んでいる。

資金は大丈夫ですか、という質問に有田さんは「カ、カ、カ」と笑い飛ばす。もちろん見通しあつてのこと。房総半島に見つけた、明るく開けた土地と自家温泉が、七十五歳の元氣な有田さんの事業スピリッツを再び明るく点火させたようなのだ。

文・石川理夫 写真・大西暢夫